

2018 スーパーFJ 東北シリーズRd.1 & Rd.2 参戦報告



Mey handmade accessories

スポーツランドSUGO

一年強の練習期間を経てついに
レースデビュー戦を迎えることができました。

今までカートでのレース経験もないため
一斉スタートでの走行はこれが本当に初めてとなります。

エントリーは7台。
ライバルはスーパーF参戦2年目、3年目の
経験豊富なドライバーが多く手強い戦いが予想されました。

しかしレース参戦する以上、それは言い訳にはできないので
1年目のルーキーらしく攻めの姿勢で挑もうと決めていました。

しかしマシンを壊すことは最悪なので、コースをしっかりと覚え
つつ徐々にタイムを上げることを目標にレースウィークを迎え
ます。



4/26(木) フリー走行3本

スポーツランドSUGO初走行を迎えた。

まず絶対にマシンを壊さないように、サーキットの特徴を掴むことを頭に入れ200km走行の中古タイヤで1本目開始
86が走った後でタイヤカスが酷くラインを外さないように走行。
Best 1'35"500

1本目のロガーを確認し昨年のポールラップと比較して
ボトムスピードを上げることを意識して2本目走行。

Best 1'34"060

タイヤを150km走行の中古に履き替え3本目開始。S耐車両のフリー走行後でラバーが乗っていて
いいタイヤになったこともあり、さらなるタイムアップに成功。トップとの差も徐々に縮まってきた。
ただ、ボトムスピードを上げることを意識しすぎてコーナー進入で頑張りすぎ、脱出でのアクセルオンが
遅れて最高速が伸び悩んでいたので、改善する必要がありました。

Best 1'32"524



4/27(金) フリー走行2本

この日の走行は16:25～開始というかなり遅い時間からスタート。予選シミュレーションも兼ねて初ニュータイヤを投入。予選時間が20分ということで、20分経てばピットに戻る手順で走行開始。遅い時間なのでクリアバイザーです。走行開始してから2周目あたりから今までに感じしたことのないグリップがあり、すごくドライビングしやすかったです。特に高速コーナーでリアが安定するので、安心してスロットル開けていくことができ前日よりさらにタイムアップ。

Best1'31"069

そのタイヤのまま17:00～連続で2本目開始。1本目はニュータイヤでのアタックにまだ慣れていなかったので、2本目30秒台に入れる自信がありましたが、少しタイヤがタれてきたのもありタイムアップはなりませんでした。しかしニュータイヤの使い方を学べたので予選でのタイムアップは自信がありました。

Best1'31"230



4/28(土) 公式予選

午前8時から公式予選がついに始まります。車検とタイヤのマーキングを午前7時過ぎに終わらせ準備をしていました。車両に乗り込み一番前から予選を始めようとしていましたが、開始5分前にメカニックの方がフロントウイングが傾いていることを発見。急遽調整して予選には間に合いましたが、一番後ろでのコースイン。

前日の予選シミュレーションすぐにタイヤが温まることはわかっていたので前車と間隔をあけ2周目からアタック開始。序盤サインボードを確認すると早くも前日のタイムを更新して30秒台に突入。タイムも一時2番手でしたがライバルたちもタイムアップ。そして燃料が軽くなってきた11周目にベスト更新。3番手タイムが出ましたが、第2戦のグリッドが予選のセカンドベストのため連續でアタック。しかし前車に引っ掛かりベスト更新ならず。第1戦、第2戦ともに4番グリッドからのスタートとなりました。走行後動画を確認するとベストタイムのラップでもまだクリップにつけていないコーナーが数箇所あり0.4秒程縮めたので詰めが甘かったです。あとは経験不足もあり、焦って前車との間隔をうまく取れなかつたこともタイムが伸び悩んだ原因の一つだと考えれます。 Best 1'30"370



4/28(土) 第1戦 決勝

予選後数時間あけて12時30分に決勝スタート。
決勝前は緊張してしまうかと思っていましたが、ほとんど
緊張することなくスタートを迎えることができました。
フォーメーションラップでしっかりタイヤを温め、
人生初めての初めてのスタンディングスタートは
可もなく不可もなく無難なスタートでした。前3台も同じような
スタートでしたが5番手がいいスタートを決め、1コーナーで
抜かれてしまいました。序盤そのまま前についていき
抜くチャンスを伺っていましたが、タイヤが摩耗するにつれ
オーバーステアが酷くなり徐々に離され始めます。
必死に食らいつこうと全開で走り食い下がりましたが、差が縮まることなくチェックを受けてました。
2位くらいまでは狙える位置にいただけに悔しさが残ります。
敗因は、経験値の少ない僕はスタート直後に抜かれ焦りが出てタイヤのグリップに合わせてドライビングを
少しずつ変える必要があるところを、予選ベストの走りをし続けようとした所です。
一つのコーナーでのロスが積み重なると簡単に数秒の差になるため、丁寧に走行することも大切だと改め
て実感させられました。 **予選4位→決勝5位**



4/29(日) 第2戦 決勝

前日の失敗を頭に入れ何度もロガーとオンボードを見直し第2戦に挑みました。決勝は午前10時スタート。

グリッドは前日と同じく4番手スタート。ニュータイヤのためフォーメーションラップでフロント、リアともに入念に温めました。スタートは完璧ではないものの、前日より少し良かったです。そのおかげもあり1コーナーで1台オーバーテイクに成功し3番手へ。そのまま2番手についていき、ペースは自分の方がよかったですので1コーナーか馬の背で仕掛けようと狙ってました。そして4周目。馬の背のブレーキで一気に詰め寄り、次のラップの1コーナーでいける自信がありました。しかしその自信が自覚のない焦りを呼んでしまい、オーバースピード気味でSP一つ目に進入しコースアウト。スピンしなかったのが不幸中の幸いでしたが、差が広がってしまいました。その後前日の反省を活かしグリップダウンするタイヤに合わせ丁寧なドライビングを心掛けたこともあり、セクター2では全体ベストを何度も更新し再び差を縮めましたが、抜くまでいかず3位のままチェックを受けてました。もう少し落ち着いて走っていれば、5周目の1コーナーでオーバーテイクできたはずなので、初表彰台を獲得できましたが物凄く悔しいレースとなりました。前日とは違う意味で勉強になりました。



予選4位→決勝3位

～まとめ～

はじめに、レース参戦させていただきありがとうございます。
自己資金のみでの参戦はできなかつたので、支援していただいた方、応援してくださつた方には本当に感謝しております。

今回レース初参戦で、初走行のサーキットでしたので学ぶことがたくさんありました。

予選でのタイムの出し方、レースでのタイヤの使い方、勝負どころの見極め方、経験値がない僕は吸収できることは全て吸収してやろうという考えのもとレースウィークを過ごしました。そのかいもあり、日を重ねるごとにタイムは上がっていきました。しかし、まだまだ詰めの甘さを実感し、悔しさが残りました。ベストタイムが出たラップでさえミスが多く、決勝では焦りから一つポジションを上げそこないました。そういった詰めるべきところを、これからもっと突き詰めていき速くて強いドライバーを目指します。

今回は優勝争いに絡めませんでしたが、次戦は優勝を獲得できる活動をしていきますので、引き続き支援、応援をよろしくお願ひ致します。

中谷要太



Mey handmade accessories